

島田市市長選挙／島田市議会議員選挙の結果

〔選挙管理委員会〕 36・7238

任期満了に伴う島田市長および市議会議員選挙(定数20)が5月19日に行われ、市長選の投票総数は5万7958票、うち有効票は5万6935票でした。当日の有権者数は8万1864人。投票率は市長選が70・80%、市議選が70・79%でした。また、市長選の期日前投票者数が1万6000人で、投票率は12・78%でした。各選挙の当選者は、次のとおりです。

【島田市市長選挙】

氏名	年齢	地区
染谷 絹代	58歳	船木

【島田市議会議員選挙】

氏名	年齢	地区
青山 真虎	35歳	向谷四丁目
伊藤 孝	45歳	船木
大石 節雄	55歳	川根町家山

氏名	年齢	地区
河原崎 聖	49歳	旭三丁目
紅林 貢	65歳	湯日
桜井 洋子	63歳	細島
佐野 義晴	65歳	野田
清水 唯史	54歳	竹下
杉野 直樹	36歳	金谷栄町
曾根 嘉明	65歳	東町
富澤 保宏	57歳	身成
仲田 裕子	64歳	菊川
平松 吉祝	66歳	道悦二丁目
福田 正男	60歳	稲荷四丁目
藤本 善男	50歳	鶉網
村田 千鶴子	60歳	横井四丁目
森 伸一	65歳	横井三丁目
八木 伸雄	59歳	川根町家山
山本 孝夫	58歳	金谷栄町
横田川 真人	29歳	神座

茶草場農法が世界農業遺産に認定

〔農政課〕 36・7168

5月30日、石川県七尾市で開かれた「世界農業遺産国際会議」で、島田市をはじめ掛川市・菊川市・牧之原市・川根本町にまたがる「茶草場」を活用した「静岡の茶草場農法」が、国内で

3番目になる世界農業遺産に認定されました。

認定を受けて染谷市長は、「茶草場の価値を再認識していく取り組みを進めるとともに、この農法で生産された美味しい島田のお茶のPRに努めていきたい」と語りました。

長い間、島田市の舵取り役を担われお疲れさまでした

〔秘書課〕 36・7117

5月28日、任期満了により合併前の旧島田市長を含め3期12年にわたり市長を務められた桜井勝郎氏が退任されました。それに伴い、9年8カ月にわたって教育長を務められた松田宏氏と、3年10カ月にわたり参与を務められた大石重範氏も退任されました。

桜井氏は、島田市と金谷町さらには川根町との合併をやり遂げ、市政に民間の企業感覚や企業手法を取り入れることで、何が市民にとって利益につながるか、どうすれば市の利益になるのかを大事に市政を運営されました。

プラザおおるりで開かれた退任式には、幹部職員約150人が参加。桜井氏は「12年間駆け足でいろいろな施策を行ってきました。近隣市町に勝るとも劣らないまちになったと満足して

ます。税金をいただいて仕事をすることを忘れずに、市民の幸せや、住みやすいまちづくりに向けて、次の市長に尽くしてください」と話しました。松田氏は「誠実で真摯な仕事に対する姿勢に敬服します。これからも市民のために仕事を続けてください」と、大石氏は「職員の皆さんに希望を持っています。明日の島田市のために、頑張ってください」と語りました。



退任式で花束が贈られた3人

宮城県南三陸町監査委員が島田市の監査業務を視察

〔監査事務局〕 36・7207

5月14日、南三陸町の監査委員2人と事務局職員2人が監査業務全般について視察に訪れました。監査委員の行政視察は新島田市となって以来初めてで、当市の監査委員と事務局職員が対応しました。

町の予算は、一昨年の東日本大震災後、復旧・復興のため大幅に増額とな

り、一日も早い復興を成し遂げるため、被災した町民の生活再生と、水産業をはじめとした産業再建を最重要課題と位置づけ、「南三陸町に住んでよかった」と思えるまちづくりを目指して取り組んでいるとのことでした。

町の監査業務のやり方は、職員の数が限られているため、本市との違いはありますが、委員同士の活発な意見交換がされ有意義に終わりました。